

国際的な環境情報開示システム「CDP Climate Change 2025」の最高評価であるAリストに初選定

2026/01/08 その他

三菱ケミカルグループ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：筑本 学、以下「当社」）はこのたび、環境活動に関する国際的な情報開示システム「CDP Climate Change 2025」において、最高評価であるAリストに初めて選定されました。

■CDPについて

CDPは、持続可能な経済を実現するために、世界の企業や自治体の気候変動対策や情報開示を調査・評価する、非営利団体です。CDPの情報開示システムは、機関投資家や取引先企業、政策決定者の意思決定に活用されています。

■Aリスト選定の意義

CDP Climate Change 2025はCDPの評価システムのひとつであり、気候変動に関する情報開示の充実度、環境リスクへの理解度、野心的な目標設定や具体的な取り組みの進捗状況を評価します。このプログラムにおけるAリスト選定は、評価対象企業の上位4%に入ることを意味します。

今回の結果は、当社が掲げるPurpose「私たちは、革新的なソリューションで、人、社会、そして地球の心地よさが続いていくKAITEKIの実現をリードしていきます。」のもと、製品・サービスを通じた気候変動対策への貢献、カーボンニュートラルに向けた取り組み、情報開示の透明性が高く評価されたものと考えています。



今後も当社グループは、KAITEKI実現に向けて、人・社会・地球が抱える課題に対してグループの総合力でソリューションを提案し、価値を提供してまいります。

・ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。